

| 受験方式

一般選抜		教科	満点	英	国	日	世	政	数IA	数IB	他	備考
商	<A方式>	2	400	200	-	(100)	(100)	-	100	-	-	
	<B方式>	2	400	200	-	(100)	(100)	-	-	100	[他]小論文	

| 志願者推移 (数値は集計日時点による)

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較 (△:増加% ▼:減少%)

一般選抜		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
商	<A方式>	480	3,845	480	3,641	▼5%	
	<B方式>	120	2,441	120	2,763	△13%	

| 入試問題分析

| 英語

入試問題分析

形式、レベルとも例年と同様。大問数も多いため、時間配分への注意が必要である。文法系問題については標準から応用レベルまで多岐にわたる。長文においては、1題につき約20分程度しか使えないので手際よく処理する必要がある。大問8については、単語の派生語を記述する問題となっている。単語は、派生語なども含めて綴りも覚えておく必要がある。

| 日本史

入試問題分析

2021年度は恒例の大問3題で小問は昨年の77問から82問に増加した。出題形式は、用語記述・用語選択・論述問題が大きな柱である。難問がほぼなく高得点が可能で、難易度は昨年並みである。出題の仕方は基本的に選択肢、もしくは筆記で歴史用語を問うタイプの出題で、正誤問題と史料問題は出題されず。2021年度は、日米修好通商条約の第4条、第6条の「不平等条約」といわれる内容をそれぞれ10字以内で用語説明をする問題が出題された。

商学部だけあり、かなりの頻度で社会経済史的な農業史か土地制度史、貨幣金融史、資本主義発達史のいずれかが大問で出題されることが多いため過去問を解き慣れることが有効である。2021年度は、2010年代の戦後史まで問う設問が出題されたが、歴代の内閣さえしっかり覚えていれば得点可能なものであった。歴代内閣はもちろんの事、コロナ禍での時事問題を出題するところもあるので、最低第二次安倍内閣ぐらいまでの現代史もしっかりと覚えておきたい。

| 世界史

入試問題分析

2019年度は78問中、57問は語群から選ぶ空欄補充問題、20問は記述式一問一答問題、1問が論述問題(40字)。2019年度は激しく易化し、論述問題も1題のみだったが、2020年度は論述問題が6題に増え、いずれもコンパクトにまとめるのに時間がかかり、難易度が上がった。2021年度はマーク式の空欄補充語群選択問題の総数が56問から63問に増加し、論述問題が4題となった。論述問題以外は再び極端に易化した。商学部だけに、商人の活動、貿易、交易品、産業、人・モノ・金の動きを意識したトピックが多いが、それだけに絞っているわけではなく、結局は満遍なく学習することが要求される。

例年、難易度の高い用語を散りばめてくる。2020年度はコロンブスとサトウキビの関係、マリ=テレーズ、フェアトレード、G20、BRICS、従属理論、南部フランス領インドシナ進駐に対するヴィシー政府の承認、新自由主義、気候変動枠組み条約など、難易度の高い情報も散見され、2018年度以前の難易度に回帰したと言える。2021年度は、リスボン条約、岩倉具視、アラブ首長国連邦のイギリスからの独立などが細かかったが、上位生ならば、かなりの高得点を狙えた。文化史は、2019年度は78問中2問のみ、2020年度は72問中2問のみ(いずれも通史で登場する用語なので、事実上、文化史は0問)。2021年度はガール水道橋とヴィクトル=ユゴの『レ・ミゼラブル』の3問のみ。

| 数学〈A方式〉

入試問題分析

昨年度よりも問題は易化。典型問題が並ぶセットであった。また、大問1の小問集合も2019年度は3題、2020年度は5題出題されたが、2021年度は2題の出題と、ボリュームの上でも少なくなっている。大問4の格子点・数列の融合問題は、格子点の配置方法が2019年度上智大学2/9の問題と似たようなものであったため、演習で解いたことがあった生徒にとっては有利だったと思われる。マーク+空所補充の出題であるが、しっかりと途中式を書けるようにしておいた方がよい。また、問題自体は標準的な難易度の年が多いものの、昨年度のように難易度が上がることも十分に考えられるため、普段から「解ききる」ことを意識して練習に臨みたい。

| 小論文〈B方式〉

入試問題分析

大問二題、①:空欄補充問題(選択・記述)/②:自由記述問題。
 経済学・商学で頻出のテーマを扱った文章を用いて、文章読解と計算(割合・単位変換の算出)を求める。文章量・出題形式・制限時間などすべて例年通り。
 制限時間(70分)に対する問題量が多く、また計算も難易度自体は中学生レベル(例外的に高校レベルも出題)だが、過度な時間は掛けられない。全体的にスピーディな解答が求められるため、過去問演習は有効。